

年間授業計画

野津田 高等学校 令和 8 年度（1 学年用） 教科 福祉科 科目 社会福祉基礎

教科：福祉 科目：社会福祉基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 4 組

使用教科書：7 実教 福祉 701 社会福祉基礎 副教材：最新 介護福祉士養成講座 2 社会の理解

教科 福祉 の目標：福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技術】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 社会福祉基礎 の目標：現代社会における社会福祉の意義や役割を理解するとともに関連する技術を身に付け、社会福祉の向上と発展に担うために必要な資質・能力の育成する

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会福祉について体系的に・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>・人間の尊厳と自立</p> <p>【知識及び技術】 人間の尊厳と利用者主体、介護を必要とする人の自立支援について理解するとともに、関連する知識を身に付ける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人間の尊厳と利用者主体、介護を必要とする人の自立支援について考察し、内容を記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人間の尊厳と利用者主体、介護を必要とする人の自立支援について、グループで話し合った内容をまとめて発表する</p>	<p>・指導事項</p> <p>●人間の尊厳と自立</p> <p>・人間の尊厳と人権・福祉理念、自立のあり方について</p> <p>・教材 教科書、テキスト、介護福祉用語辞典、プリント、一人1台端末</p>	<p>【知識及び技術】 人間の尊厳と利用者主体、介護を必要とする人の自立支援について、理解した内容を記入しているか</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人間の尊厳と利用者主体、介護を必要とする人の自立支援について、考察した内容を記入しているか</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人間の尊厳と利用者主体、介護を必要とする人の自立支援について、グループワークで話し合った内容をまとめ、発表しているか</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		-
<p>1 学期</p> <p>・人間関係の形成</p> <p>・人間関係におけるコミュニケーションの基礎</p> <p>【知識及び技術】 人間と介護の関係、自分と他者、コミュニケーションの概念、対人援助における基本的態度などについて理解するとともに、関連する知識を身に付ける</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人間と介護の関係、自分と他者、コミュニケーションの概念、対人援助における基本的態度などについて考察し、内容を記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人間と介護の関係、自分と他者、コミュニケーションの概念、対人援助における基本的態度などについてグループで話し合った内容をまとめて発表する</p>	<p>・指導事項</p> <p>●人間関係の形成</p> <p>●人間関係におけるコミュニケーションの基礎</p> <p>・人間と人間関係、対人関係（対人援助関係）とコミュニケーションについて</p> <p>・教材 教科書、テキスト、介護福祉用語辞典、プリント 一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技術】 人間と介護の関係、自分と他者、コミュニケーションの概念、対人援助における基本的態度などについて、理解した内容を記入しているか</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人間と介護の関係、自分と他者、コミュニケーションの概念、対人援助における基本的態度などについて、考察した内容を記入しているか</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人間と介護の関係、自分と他者、コミュニケーションの概念、対人援助における基本的態度などについて、グループワークで話し合った内容をまとめ、発表しているか</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

高等学校 令和8年度（1学年） 教科 福祉 科目 介護福祉基礎

教科：福祉 科目：介護福祉基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 4組

使用教科書：（7実教 福祉702 介護福祉基礎 副教材：最新 介護福祉士養成講座4 第2版 介護の基本 I

教科 福祉 の目標：福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う

科目 介護福祉基礎 の目標：介護の意義と役割を理解するとともに関連する技術を身に付け、地域における継続した生活の支援を担う職業人として必要な資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な介護知識の習得のほか、現代の福祉課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解し、関連する技術を身につける。また、様々な資料から、介護福祉分野における課題を読み取り、現在の状況を知り介護実習の実践に繋げる。	介護に関する課題を発見し、職業人に求められている適切な倫理観を養い、科学的根拠に基づいた介護方法を身につけ、確かな創造力に基づいた介護実践する力を養う。	よりよい社会の実現（共生社会）に向けて、自己に求められている役割を理解すると共に、現代の諸課題を整理し主体的に解決しようとする態度を養う。福祉の見方・考え方を多面的に捉える力を養い協働的に取り組む力も身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1章 介護福祉を取り巻く環境 ○介護福祉の基本となる理念 ○介護福祉の歴史 【知識及び技術】 専門職による「介護」が誕生した経緯を理解させる。介護と看護の違いについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 「介護福祉士」の役割についてや、福祉三法から福祉六法への変遷について説明することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」の仕事について具体的なイメージを持つことができる。	【指導項目】 第1章 介護福祉とは ・介護の成り立ち ・介護福祉を取り巻く環境 ・介護サービスと家族介護のバランス 【教材】 教科書、ワーク、プリント	介護の成り立ち 【知識及び技術】 専門職による「介護」が誕生した経緯を記入している。 福祉三法・六法の変遷について記入している。 【思考力・判断力・表現力等】 「介護福祉士」の専門性について考察する。「介護福祉士」という仕事が生じた背景を考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」の仕事について具体的なイメージを相手に話すことができる。 老人福祉法が成立した背景を話すことができる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第2章 介護福祉士の役割と機能 ○社会福祉士及び介護福祉士法 【知識及び技術】 専門職としての介護福祉士が、1987年に「社会福祉士及び介護福祉士法」の施行とともに制度化されたことについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 介護福祉士が守るべき義務規定について、説明することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 心身の状況に応じた介護がどのようなものかについてまとめ、発表することができる。	【指導項目】 介護福祉士の役割と機能 ・社会福祉士及び介護福祉士法 ・社会福祉士及び介護福祉士法に関連する諸規定 ・心身の状況に応じた介護 【教材】 教科書、ワーク、プリント	介護福祉士の役割と機能 【知識及び技術】 社会福祉士及び介護福祉士法が生じた背景や、時代の変化により求められるニーズの違いについて記入している。 【思考力・判断力・表現力等】 社会福祉士及び介護福祉士法が示したわが国の介護福祉の基本理念や原則について、資料を見ながら考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 「介護福祉士」として、という仕事が生じた背景をイメージし、心身の状況に応じた変化について説明することができる。	○	○	○	12
小テスト			○	○		1	

高等学校 令和8年度(1学年用) 教科 福祉 科目 介護総合演習

教科: 福祉 科目: 介護総合演習 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 1 学年 4 組

使用教科書: (最新 介護福祉士養成講座10 第2版 介護総合演習・介護実習)

教科 福祉 の目標: 福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じて、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な社会福祉の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。

科目 介護総合演習 の目標: 介護実習などについて、他科目で学んだ知識などを統合し、課題解決に必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域福祉や社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	地域福祉や社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探索し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>介護演習</p> <p>【知識及び技術】 介護実習が適切かつ総合的に展開できるように、介護実習の意義や目的などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考、判断、表現等】 介護実習を通して個人情報保護やリスクマネジメントなどについて課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域での継続した生活を支援する介護実習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>【指導項目】 マナー講座(実習にのぞむ態度や学ぶ姿勢) 介護実習Ⅱ事前指導(個人票・実習日誌の書き方・目標の立て方・実習施設への電話のかけ方) 実習施設調べ(高齢施設・障害施設)</p> <p>【教材】 教科書、テキスト、社会福祉小六法、ワークシート、実習日誌、個人票、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 介護実習施設の概要のみならず、意義や目的、実習生としての心構えなどの説明された内容を理解することができたか。また、介護実習に必要な目標設定をし、個人票などに文章で記入することができたか。</p> <p>【思考、判断、表現等】 介護実習を通して個人情報保護やリスクマネジメントへの取り組みを学び、他科目で学んだ知識と技術を統合し、具体的な事例について考察し、より良い生活支援について文章や発言するなど発信ができたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域のなかにある介護施設の役割を理解した上で、介護実習について自ら学び、具体的な事例をから得た課題について、解決方法などをグループの中で話し合い、より良い方法を見つけ出して発表することができたか。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
<p>事例研究</p> <p>【知識及び技術】 事例研究を通してサービス利用者の心理や生活状態などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考、判断、表現等】 介護実習や福祉活動などから得た体験についての課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 介護実習がや福祉活動などから得た体験について自ら学び、事例研究に主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>【指導項目】 介護実習の振り返り・お礼状 介護実習援助事例研究</p> <p>【教材】 教科書、テキスト、社会福祉小六法、ワークシート、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 介護実習での学びから事例研究を通して、サービス利用者の心理や生活状態などについて、理解するとともに関連する知識と技術を身に付けることができたか。</p> <p>【思考、判断、表現等】 介護実習や福祉活動などから得た体験について課題を発見し、福祉専門職として必要な援助方法や価値観について考察することができたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 介護実習や福祉活動などから得た体験について自ら学び、職業人に求められる倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づく介護を目指した事例研究に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
<p>調査、研究、実験</p> <p>【知識及び技術】 調査、研究、実験を通して、福祉の各分野について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>【思考、判断、表現等】 福祉の各分野について、調査、研究、実験などを通して課題を発見するとともに、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 福祉の各分野について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>【指導項目】 介護実習Ⅱ事後指導</p> <p>【教材】 教科書、テキスト、社会福祉小六法、ワークシート、PC端末</p>	<p>【知識及び技術】 調査、研究、実験を通して、これまでの学習内容と介護実習での経験から、関連する部分を理解することができる。</p> <p>【思考、判断、表現等】 福祉分野について、調査、研究、実験などを通じて、サービス利用者の生活課題を発見し、問題解決について考察することができたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 福祉の各分野について自ら学び、これまでの学習や経験を通して、これからの福祉に必要なことなどを、グループで話し合い、まとめた内容を発表することができたか。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
						合計
						35

野津田 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

福祉科 科目 ころとからだの理解

教科：福祉

科目：ころとからだの理解

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 4 組

使用教科書：7実教 福祉304 ころとからだの理解 副教材：最新 介護福祉士養成講座 11 ころとからだのしくみ

教科 福祉

の目標：福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技術】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 ころとからだの理解

の目標：人間の理解に必要な心身の構造や機能、生活支援に必要なころとからだの関係、認知症と障害などについて、福祉を实践する際の根拠を理解するとともに関連する技術を身に付け、生活支援を行うために必要な資質・能力を育成する

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立生活の支援に必要なころとからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	自立生活の支援に必要なころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全持続的な社会の構築を目指して自ら学び、ころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・からだのしくみの理解 【知識及び技術】 からだのしくみについて、身体 の名称や可動域等それぞれを理論的 に理解し身につける 【思考、判断、表現等】 からだのしくみについて、それぞ れの部位の関連性について考察 し、その根拠を示し、表出する力 を養う 【学びに向かう力、人間性等】 からだのしくみについて、それぞ れの部位の役割を通して、自立 につながる支援方法の理解に結び付 けるため、話し合いを通して、主 体的かつ協働的に取り組む態度を 養う	・指導事項 ●からだのしくみの理解 ・身体部位、骨格、格筋、脳・神 経系、循環器の構造としくみ ・教材 教科書、テキスト プリント、一人一台端末	【知識及び技術】 身体部位、骨格筋、脳・神経系のしくみに ついて、説明された内容を理解し、適切に 記入する 【思考、判断、表現等】 身体部位、骨格筋、脳・神経系のしくみに ついて、自身のからだの動きなどを通して 考察し、根拠を示しながらその内容を記入 する 【学びに向かう力、人間性等】 身体部位、骨格筋、脳・神経系のしくみに ついて、それぞれの機能が自分らしい生活 に結び付けることができるかグループで話 し合い、内容をまとめ、発表する	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	・からだのしくみの理解 【知識及び技術】 内臓系、生殖器などのしくみにつ いて、それぞれを理論的に理解し 身につける 【思考・判断・表現】 内臓系、生殖器などのしくみにつ いて、それぞれの部位の関連性 について考察し、その根拠を示し、 表出する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 内臓系、生殖器などのしくみにつ いて、それぞれの部位の役割を通 して、生活上の支援方法の理解に 結び付けるため、話し合いを通し て協働的に取り組む態度を養う	・指導事項 ●からだのしくみの理解 ・消化器、泌尿器、生殖器、内分 泌系の構造としくみ ・教材 教科書、テキスト プリント、一人一台端末	【知識及び技術】 内臓系、生殖器などのしくみにつ いて、説明された内容を理解し、適切に記入する 【思考、判断、表現等】 内臓系、生殖器などのしくみにつ いて、自身のからだの機能などを通して 考察し、根拠を示しながらその内容を記入 する 【学びに向かう力、人間性等】 内臓系、生殖器などのしくみにつ いて、生活上の安定につながる支援方法につ いて、話し合いを通してまとめ記入する	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

